

通し番号	中学校区	No.	大項目	小項目	分類	未回答	質問内容	回答
169	栄川中学校区	1	再配置の方向性	小中学校の再編	地域との関係		栄川中学校区で小学校統合すれば、地域としてどのようにとらえればよいか。	<p>教育委員会としては子供ファーストということで、子供を第一に考えて、教育ができるように検討進めています。説明にありましたように財政上の問題だけではなく、本当に子供にとってより良い教育を進めるにはどうあるべきかということで、色々な有識者の方々にもご意見いただきながら、教育委員会だけではなく検討を進めております。特に、少子化の影響で全国的に子供の数がどんどん減ってきておりまして、それぞれの学校の中で栄川中学校区もかなり減少してきているわけですが、そういったことを考えた時にやっぱりどう学校再編していくか、ある程度小学校・中学校、全体で統廃合していくということはやむを得ないと考えております。これは栄川中学校区だけではございません。掛川市内に31校の小中学校ございます。そのうち小学校は22校ございます。今現在、22校の小学校のうちの半分、11校の小学校が1学年に1学級しかありません。つまり、小学校ですと6学年ありますので6学級しかないということです。栄川中学校区で言うと、日坂小と東山口小がもちろんその中に含まれます。これは普通学級だけです。特別支援学級を除いて普通学級が1学年1学級しかない、それが市内22校のうちの半分の11校というのが現状です。これが、令和7年に生まれた子供が小学校入る時には13校になると推測しております。さらに半分以上がそういう状況になってしまいます。そうすると更に学校によっては、1学級の中でも数も減っていくという状況です。適正規模、適正な子供の数からすると、教育環境としてはあまり望ましいことではないのかなと思います。そういうことも踏まえながら、今現在、どう学校を再編していくかということをもう2年近く検討しております。</p> <p>先程、小中一貫教育のことを話しましたが、建物があってもその中身ですね、教育がしっかり充実しなければならないということで、掛川市としましては3年前に小中一貫教育の研究指定を原野谷学園、原野谷中学校区とそれから南の城東中学校区で研究をしまして、3年間の研究が今年終わりました先月11月に二つの学園から発表がございました。原野谷学園の校長先生にその3年間の研究成果を発表していただいたわけですが、その成果を元に今度は市内の9つの中学校区で小中一貫教育ができるようなカリキュラム編成を行っています。カリキュラムとは9年間を見通した学習がどういうものが良いのかということ、掛川ならではの教育できればということで研究を進めております。それができれば、その新しい学校施設と合わせて、それなりの子供の数がやっぱり編成できれば、教育効果はかなり出るということで大学の先生方にもご意見いただきながら進めているというところでございます。ですから、そういった状況になっていく時には、それぞれの中学校区でもっと細かい具体的な説明を、皆様に私どもからして、また皆様からご意見いただきたいと思っております。例えば昨年、中学校区に小中学校はどうあるべきかなってということもさらに踏み込んで検討していきたいと思っております。</p>
170	栄川中学校区	2	再配置の方向性	小中学校の再編	再編の枠組み		小中学校の統合の話が説明中あったが、中学校の統合もあるのか。	<p>現在、教育委員会の方では小中学校全て31校市内にございますけれど、その学校の再編について研究・検討しております。基本的に先程説明があった中学校区単位で学園と言っております。市内に9つの中学校区がございまして、その中学校区ごとで小中一貫校を造っていきたいということで検討しております。ただ、その小中一貫教育を進めるにあたりまして、その子供の数・適正な数が必要となってまいりますので、そういった教育ができるかどうか、そういった規模になるかどうか、確保できるかどうか、そんなことも課題として取り合っておりますので、そこを含めて研究を進めております。</p> <p>この小中一貫校を造るにあたりましては、当然1中学校区だけのことではなく、市内全体で考えていかなければなりません。例えば、市街地ですと子供の数が多くやはり規模が大きすぎてしまい、望ましい小中一貫校教育ができないということもございますので、全体のバランスを考えて再編ということを考えております。</p>
171	栄川中学校区	3	再配置の方向性	官民連携の推進			「譲渡」で民間サービス機能は維持向上できる保障は？民間企業は利益優先が原則。	<p>民間企業の利益は確かに優先されます。あと、市民の皆様の利益、この辺をよく調整しまして、両者が良いところを探っていくということが重要だと考えております。そのために、企業様等と何度でも対応をしながら検討を進めてまいりたいと考えております。</p>

172	栄川中学校区	4	検討の進め方	計画策定期			平成17年、18年頃に（少子高齢化はわかっていたのに）再編計画をしなければならなかったのに、なぜ今頃になって計画なのか。（計画の遅延か。）	高度経済成長期に整備をした施設が、耐用年数を迎えてきているということが背景にあります。遅いというお考えもあるとは思いますが、掛川市の場合には平成12年に1市2町が合併をしまして、最初に合併の事業、新市としての融合を目指した事業を進めてまいりました。現在では、そういう時代背景、耐用年数の関係、それから財政状況の関係、投資経費のことを含めようやく手を付けられる段階になったということでご理解をいただければと思います。
173	栄川中学校区	5	再配置の方向性	財源不足	原因		行政が何をしたから、または、何をしなかったから、こういう財政状況になったとお考えですか。	少子高齢化を主因として、社会保障関係経費の増加が右肩上がりで行進しております。そういう中でそれぞれの地方自治体では、行財政改革を推進し経費の削減に努めてきているところではあると思います。これについては、何をしたから何をしなかったからということ、なかなかお答えをしにくいのですが、財政状況は社会的・経済的な背景もあるということでご理解をいただければと思います。
174	栄川中学校区	6	検討の進め方	市民意見	合意形成		施設ごとの時期の明記があるが、その時期に改めて、各関係者を集めて、説明・意見聴取はあるのか。	再配置計画は、あくまでも各施設の再配置検討の時期や方向を示すものでありますので、実際の再配置を事業化していく際には、個別施設ごと個別案件ごとに地域の皆様や利用者の皆様等の関係者と協議をさせていただきながら具体的な検討を進めてまいります。
175	栄川中学校区	7	説明会	説明内容	事例		三重県の小学校の事例が1つだけ紹介されました。築5年程経つようですが、外観はとても良さそうです。使っている方々（学校職員・地域住民）の声（賛否共）を紹介していただきたいと思っております。	建設前から学校と地域住民の話し合いの場が設けられまして、ご紹介しましたとおりワークショップ形式で学校を中心とした複合施設のあり方が議論されていまして、円滑に運営がされていると伺っております。
176	栄川中学校区	8	再配置の方向性	目標設定	根拠		統廃合の流れの中で、集約化を図る上で、どの程度新築の施設を造ることが可能なのか。新たに造れば、20億、30億という縮減額はすぐに消えてしまうように思えるが。	現状、今と同じような形の施設の枠組みで造っていけば、当然、基本的には単独の新設というのは大変厳しくなっていくと考えています。新たな機能が必要になった場合には、既存施設を複合化していくことで面積等の調整をする中で、財源の確保も進めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。
177	栄川中学校区	9	再配置の方向性	財源不足	試算		将来の更新費用「70億円」という数字の「将来」とは、ある期間を区切って必要な額のことですか。それとも1年間ですか。	この将来更新費用については、今後50年間、毎年70億円必要になると試算をしております。計画の策定段階から50年間ということで試算をさせていただいておりますので、よろしくお願いいたします。
178	栄川中学校区	10	再配置の方向性	官民連携の推進			資料2の公民連携の拡大とはどんなイメージでしょうか。市と民間業者のイメージですか。市民が運営の主体あるいは一部を担っていくのは想定されていますか。	民間の会社だけではなくて、NPO団体や市民団体の施設によってはあり得ると考えております。良いサービスを提供する、利用者の方に満足いただく観点から皆様とご相談しながら、個別の案件について進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

179	栄川中学校区	11	再配置の方向性	地域コミュニティ		地域生涯学習センターは、地区の集会、会議室の機能がある。栄川中学校区の中で東山、日坂、東山口は離れていて、それぞれ存続するのが望ましい。（維持複合化の中で）万が一、統廃合する場合、自治会の再編もあるのか。	地区の再編についてご質問だと思いますが、これにつきましては、現時点では例えばですけれども、地域生涯学習センター等のまちづくり協議会の活動拠点については、再編後の小中学校への複合化を考えております。場合によっては、一つの学校に複数のセンターが設置されるという可能性もあると思います。ご質問のように離れている場合どうするのかということもございまして、現在地よりも遠くなる可能性もあります。そういうこともあります。移動手段を確保できるようなことを考えていきたいと思っております。 それから、それぞれの地区に存在するかということですが、現段階で、自治会、まち協、あるいは地区の再編のことについては考えておりません。
180	栄川中学校区	12	再配置の方向性	その他		地域の賑わいとは、具体的にどういうことか。	地域の様々な世代の方が集うような場をイメージしております。多くの方が集い、交流するような地域の拠点になることで、公共施設の維持や商店等の民間施設の維持に繋げていきたいという考え方をしております。
181	栄川中学校区	13	再配置の方向性	縮充		「縮充－質の向上」について、今より具体的にどのような点が、どのように向上されるのか。	施設につきましては、減ったり遠くなったりするかもしれませんが、地域ごとに施設を集約して地域の拠点を創出していきたいと考えております。今よりも地域に賑わいや人々の交流を生み出し、まちづくりの核となることを目指していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。
182	栄川中学校区	14	検討の進め方	市民意見	合意形成	議論する場ではなく、一方的説明と質問の一方通行の場でしょうか。今後、またやるのでしょうか。	今日最初に司会から申し上げましたとおり、今回このような記入形式にさせていただきましたのは、できるだけ多くの皆様からご意見を頂戴したいというような主旨でございます。一方通行とお受けになる方もいらっしゃるかもしれませんが、もしよろしければ、何度でもご質問と言いますか、アンケートの方でご記入いただければ、私どもの方にご意見をいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。
183	栄川中学校区	15	検討の進め方	市民意見	合意形成	公共施設再配置計画策定へのプロセス、話し合い等のスケジュール、枠組みについて？	これについて、おっしゃるとおりだと思っております。これにつきましては機会を得て、その都度、説明会の開催をさせていただいたり、あるいは、市の方で各種アンケートやインターネット上やそれぞれの施設の方、あるいは法人にお願いしまして、これから進めていきたいと思っております。ぜひ多くの皆様にご意見をお寄せいただく中で、個別のそれぞれの地域事情や利用されている方の実情等を話し合いや協議の場を作って吸収していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。
184	栄川中学校区	16	再配置の方向性	財源不足	試算	公共施設の将来更新費用70億円、用意できる財源40億円の算出根拠を知りたい。生産年齢の減少、少子高齢化の傾向は理解できるが、例えば定年延長や高齢者雇用、経済成長など、50年先までどのように予測したのか。	平成28年3月に本市では、公共施設等総合管理計画というものを策定し、将来の公共施設の更新費用を試算しました。その試算によりますと、今後50年間に今ある公共施設を維持更新していくのにかかる費用は、1年あたり70億円ということです。 このように70億円かかるということに対して、現在の社会保障費の増加等を考慮すると、維持更新に充てられるお金は1年あたり40億円程度となるというものであります。これについては、50年間の推計ということですが、この公共建築物にかかる工事費用は、50年間で2034億円という推計を立てております。公共建築物の更新費用に用意できる財源は430億円という試算をしております。これによりますと、今後50年間の不足額は、2034億円－430億円ということで、1604億円となってまいります。それを全体の床面積を削減することで、費用を捻出していきたいというのが今回の説明趣旨でございます。

185	栄川中学校区	17	再配置の方向性	縮充			今回の公共施設の見直しの理念は？	基本的な理念は縮充ということで、先程ご説明をさせていただいた内容でございます。公共施設の財政的な理由がありますが、それだけではないと考えておりますので、この機会に複合化等によって機能が充実していくことも進めていきたいと考えております。
186	栄川中学校区	18	再配置の方向性	財源不足			市全体の予算、年間30億の不足。年間予算約500億のほかの分野における行財政改革の取り組みの余地もあると思う。国の方では、高齢者医療費の負担が1割から2割へ見直されていく。市においてもタブー抜きで行財政改革を進めてほしい。そして、本日資料にもあるように「社会経済情勢、市民ニーズ、進捗状況を踏まえ10年ごとに計画を見直す」と書かれている。その部分に通ずる話だと思うがどうか。	掛川市では平成21年度に第1期の掛川市行財政改革審議会を設置しまして、これ以降第5期まで進めてきております。経常的な経費の削減も進め、職員も削減したり、委託料等も削減したところでございます。そういう取り組みについても、お知らせをさせていただきたいと思っております。
187	栄川中学校区	19	再配置の方向性	財源不足	原因		財政危機の原因は？	少子高齢化等を主因としまして、現在、社会保障費が毎年大変増加をしております。具体的な数字を申し上げますと、平成20年度決算で41億5000万円、平成30年度決算では82億3000万円の社会保障費扶助費になっておりまして、10年間で簡単に言うと2倍に増加しております。このようなことで簡単にいいますと、41億円が2倍になっているというような財政運営の現状にございます。財政危機の原因というのは、主にそういったこと人口の増減の変化ということが大きく関係しているのではないかと考えております。
188	栄川中学校区	20	再配置の方向性	財源不足	試算		歳入試算の根拠は？50年予測？経済成長の見込み？	現時点での状況を踏まえ予測したものになりますので、10年ごとに社会経済情勢や市民ニーズの変化、進捗状況等を踏まえながら見直していく予定です。
189	栄川中学校区	21	再配置の方向性	計画の見直し			今後、市の財政が、仮に良い方向に向かった場合は修正されるのか。逆の場合は時期を早めるのか。	50年間のスパンでの計画ということについて、現状と違った財政状況等になった場合ということかと思います。これにつきましては、50年という非常に長い計画期間になりますので、本計画については、10年ごとに社会経済情勢や市民ニーズの変化、それから進捗状況等を考慮して見直しをしていくということでございます。
190	栄川中学校区	22	検討の進め方	市民意見			他施設への複合化の案はいつ頃、示されますか。	現在、小中学校の計画については検討中であります。今年度中に再編案をまとめ令和2年度に公表し、市民の皆様からご意見をいただきながら、来年度中に学校再編計画をまとめていく予定でございますので、複合化の案もその時にお示しできればということでございます。
191	栄川中学校区	23	検討の進め方	市民意見			3地区のセンターは小中学校へ複合化、小中学校は統廃合となっているが、もう少し具体的に説明してもらいたい。	これにつきましては、現時点では、例えば地域生涯学習センター等のまちづくり協議会の活動拠点については、再編後の小中学校への複合化を考えております。場合によっては、一つの学校に複数のセンターが設置されるという可能性もあると思います。現在地よりも遠くなる可能性もあります。そういうこともあります。移動手段を確保できるようなことを考えていきたいと思っております。